

ライブ・イン・ピース@カフェ

沖縄と集団的自衛権

9月21日(日) 13:30~16:30 (資料代 100円)

西成区民センター (地下鉄・南海「天下茶屋」・地下鉄「岸里」下車)

9月21日 @カフェ「沖縄と集団的自衛権」に参加しよう!!

7月1日安倍首相は「集団的自衛権行使容認閣議決定」と同時に、辺野古新基地建設に着工しました。その日からキャンプ・シュワブには、大量の新基地着工用の機材搬入が開始されました。沖縄県民は、搬入をやめさせるために、24時間の座り込み行動を開始しました。政府・防衛省は、何と座り込みをさせないために、鉄の三角のアンクル(写真中央)を基地入り口に設置しました。抗議する県民が、そこに倒されると負傷したり、間違えれば命を失いかねない危険な凶器です。

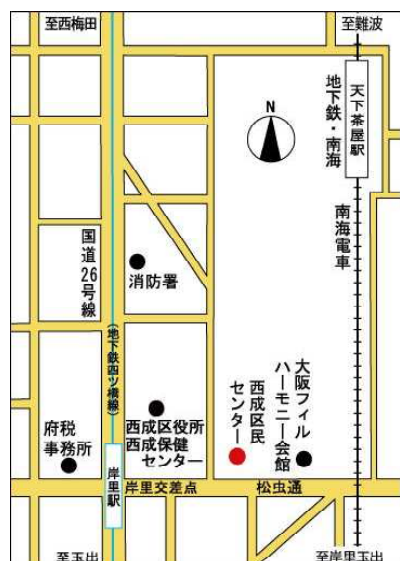
8月14日には、安倍政権は、新基地予定地をはるかに越えるキャンプ・シュ

ワブ沖 2km に及ぶ区域をブイとフロートで張り巡らし、海底ボーリング調査を開始しました。政府は、ここに立ち入ると「刑事特別法」で逮捕すると脅し、「安全確保」と称して、海上保安庁のボートで、反対する県民を捕捉し、排除しています。しかし、本来「刑事特別法」が適用されるのは、キャンプ・シュワブ沖 50m までの米軍の専管水域(米軍の支配下地域)です。その遠方 2km といえば公海で、逮捕の法的根拠は何もありません。安倍政権は法律を無視してまで、しゃにむに新基地建設へ突き進んでいます。

11月の沖縄県知事選までに既成事実を積み重ねれば、選挙の結果、反対派の知事が当選したとしても「埋め立て容認は撤回できない」(首相官邸スタッフ)と言い放っています。

安倍政権の「集団的自衛権行使容認」と辺野古新基地建設強行、石垣島などへの自衛隊基地建設などの現状を知り、私たちはどのようなことをすればよいのかを一緒に考えていきたいと思います。是非ご参加下さい。

(写真は、森の映画社☆札幌編集室、沖縄ニューズリールNO6より)



ライブ・イン・ピース☆9+25

TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪)

<http://www.liveinpeace925.com/>

E-mail info@liveinpeace925.com